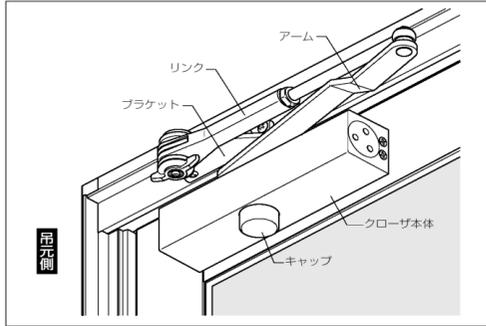


内付ドアクローザ 取付け説明書

■施工される方へお願い

- このドアクローザは、室内側に取付けます。
- 本説明書は、外観右吊元用で説明してあります。左吊元の場合も、同じ要領で取付けてください。

■各部名称図



■ねじ一覧表

①	②	③
固着剤 皿小ねじM5×12 (固着剤付き) 4本	固着剤 皿小ねじM5×16 (固着剤付き) 4本	皿小ねじM4×12 6本

■部品一覧表

クローザ本体	アーム	キャップ
本体ブラケット	ブラケットリンク	アーム止めねじ 2本
スパナ	内クローザ裏板	内クローザ裏板スペーサー

■取付け順序

1 内クローザ裏板の取付け

2 本体ブラケットの取付け

3 ブラケットの取付け

4 アームの取付け

5 クローザ本体の取付け

6 アームの連結

■取付け詳細

※図はランマ無(上枠)で説明しています。

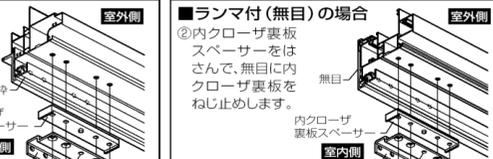
1 内クローザ裏板の取付け

- ①上枠用穴ふさぎシール(3枚)をはがし、ドア上機の穴ふさぎキャップを外します。



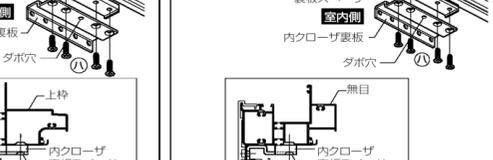
2 本体ブラケットの取付け

- ②内クローザ裏板スペーサーをはさんで、上枠に内クローザ裏板をねじ止めします。



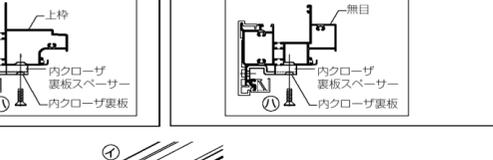
3 ブラケットの取付け

- ③本体ブラケットの刻印(㊦印)を吊元側に向け、ドアに取付けます。



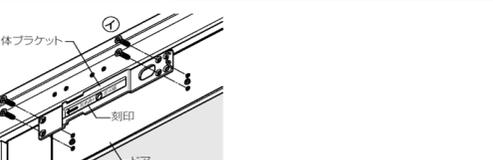
4 アームの取付け

- ④クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向け、ドアに取付けます。



5 クローザ本体の取付け

- ⑤アームの連結



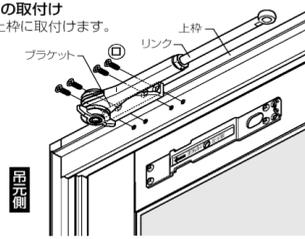
6 アームの連結

- ⑥アームの連結



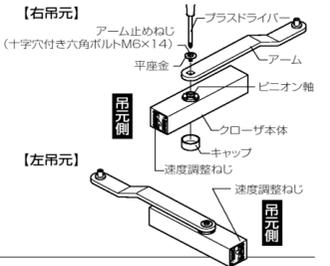
3 ブラケットの取付け

- ①ブラケットを上枠に取付けます。



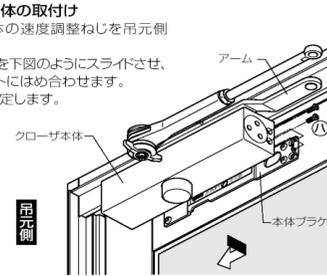
4 アームの取付け

- ①クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向け、ドアに取付けます。
- ②ピニオン軸にアームを下図の向きではめ、アーム止めねじを締めます。
- ③キャップを下から「バチッ」とはめます。



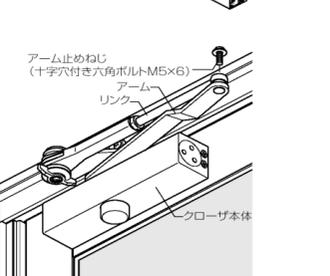
5 クローザ本体の取付け

- ①クローザ本体の速度調整ねじを吊元側に向け、ドアに取付けます。
- ②クローザ本体を下図のようにスライドさせ、本体ブラケットにはめ合わせます。
- ③戸先側から固定します。



6 アームの連結

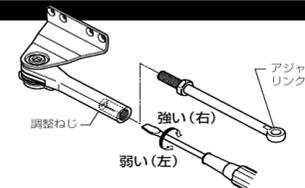
- ①リング先端の穴にアーム先端のピンを差込み、アーム止めねじを締めます。



■ストップ強さの設定

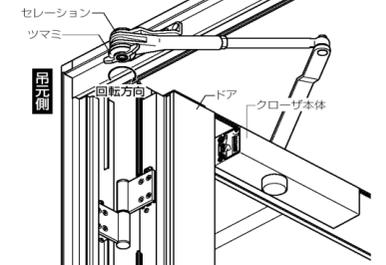
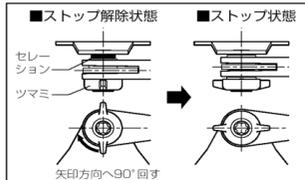
■ストップの角度

- ドアをストップさせる角度まで開き、ツマミを右へ90°確実に回してください。90°回らない場合は、ストップ装置のセレーション部のかみ合いを確認してください。かみ合いの悪い場合は、ドアを少しゆすりながら、回してください。確実に90°回らないと、ストップ装置の故障の原因になります。



※ストップ角度は145°以下に設定してください。枠とドアが干渉して部品が破損するおそれがあります。

- あらかじめストップ力の強さは、調整済みです。調整が必要な場合は、ストップ装置にねじ込まれているアジャストリンクを外し、調整ねじをドライバーで左右いずれかに回転します。右に回すとストップ力は強くなります。左に回すとストップ力は弱くなります。
- ※調整ねじは左右1回転以上回さないでください。

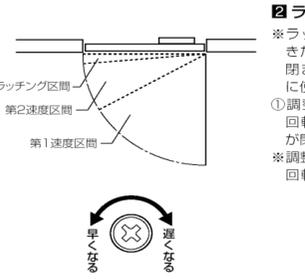


■ドア(扉)閉じ速度の調整

- 閉じ速度は、早くしすぎないでください。指などをはさむおそれがあります。

1 閉じ速度の調整

- ①閉じ速度は、第1速度区間及び第2速度区間、それぞれ個別の調整ねじで行います。
- ②速度調整ねじを左右いずれかに回転させます。適正速度は、ドアの閉じ始めから閉じ終わりまで5~8秒位です。



- 調整ねじは、遅くなる方から早くなる方へ調整してください。
- 調整ねじは、左へ1回転以上回転させないでください。油もれを起こすおそれがあります。

2 ラッチングアクションの調整

- ラッチングアクションは、ドアが閉鎖位置直前(約3°)まで来た時点でドアを素早く閉める機能です。風が強くドアが閉まりきらない場合などに使用します。

- ①調整ねじを反時計方向に回転すると、素早くドアが閉まります。
- ※調整ねじは左へ2回転以上回転させないでください。

